

令和 6 年 2 月

尼崎市における学びの多様化学校設置基本方針(素案) 概要

尼崎市教育委員会

1. 尼崎市における学びの多様化学校設置について

(1) 設置の目的

小・中学校における不登校児童生徒数は全国で約 29 万人を超え、社会的な課題となっており、本市においても小・中学生合わせて約 1,300 人と全国よりも高い割合で推移している。不登校となる児童生徒は年々増加しており、今後も増加し続ける可能性が高いと考えられる。そのため、国においては不登校の児童生徒が学びたいと思った時に学べる場や環境の整備が進められている。

こうした状況を踏まえて、本市では誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策・支援の一つとして、多様性を認める学びの場を整備するため、柔軟な教育カリキュラムの編成などが可能な『学びの多様化学校』の設置を行う。

『学びの多様化学校』とは学習指導要領にとらわれず、不登校生の実態に配慮した特別な教育課程をもつ学校であり、令和5年度現在、全国に24か所が設置されている。国の方向性としては、各都道府県に最低1校、将来的には全国に300校の設置をめざしている。

(2) 基本理念 ～めざす学校の姿～

こどもセンターの視点に立ち、地域や社会、そして未来とのつながりのなか、
一人ひとりの最大限のウェルビーイングの実現を目指して

(3) めざす学校の姿の実現に向けた学校づくりの視点

- ① 尼崎市全体の学びの多様化を推進するためのフラグシップ校をめざす。
- ② こどもにもおとなにもそれぞれの安心・安全な居場所づくりをめざす。
- ③ こども一人ひとりの教育的ニーズに対応できる。
- ④ 多様な職種の職員による支援を行う。
- ⑤ こどもの「意思決定」を尊重し、個々に応じたライフデザインが描けるこどもを育てる。

2. 尼崎市における学びの多様化学校の枠組み

- (1)校種 : 尼崎市立中学校 *校名は今後検討
- (2)場所 : 成良中学校琴城分校跡地に建てる平屋施設と
成良中学校琴城分校の教室を併用
- (3)開校 : 令和8年4月 予定
- (4)生徒数 : 全校生徒40名程度、(市内全域から通学可)
- (5)対象 : 不登校状態にある生徒であり、学びの多様化学校における教育活動の枠組の中で、自分の
個性や主体性を発揮できると判断される生徒



3. 教育課程編成に向けての基本的方向性

(1)【心理的安全性】 セキュアベース

教育相談、メンター機能を生かし、子ども一人ひとりが
心の居場所をもてる。心を育む教育の推進

(2)【自主性】 セルフマネジメント

学びの「場」「方法」「内容」を選択できる等、子ども自らが『学びの設計』を行う自律的な学習を推進

(3)【創造性】 ライフデザイン

こどもの興味・関心を出発点とし、学習者自らが決めたテーマや課題をもとに自由な探究活動の展開
未来の社会の創り手となる力を育成

(4)【社会性】 ソーシャルスキル

様々な人々との交流を通じて社会性や協調性を育成。異学年で形成されるコミュニティをベースとした学びの展開

